

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

地域編集の学校「まちの編集を实践しよう」を開催しました



鏡川流域関係人口講座の第3期にあたる「かがみがわフェスタ」では、約4カ月間、地域情報の編集などを行うための講座を開催し、2月3日(土)には、これまでの地域編集講座の実践編として、高知市内で地域取材を行いました。

当日は、友光だんごさん(株式会社 HUUUU 取締役兼編集部長)をゲスト講師に迎え、鏡川流域のまちを散策したあと、紹介記事の作成を行いました。石川県や愛知県など全国各地から参加があり、参加者同士の交流も生まれていました！



まずはオリエンテーション。簡単な自己紹介と、鏡川流域のまちの情報を共有しました。



まちを散策する中で気になったお店を取材させていただきました！

こちらは宮田小鳥店(高知市はりまや町1丁目10-18)さん。専門の資格と知識を持ち、生きものへの理解がとても深いスタッフさんにお話を伺いました。



鏡川流域での営みやまちの歴史を考える機会、そして、生きものや自然との関わりを考えるきっかけになりました。

最後は紹介記事の発表会。散策中に撮影した写真を見せながら、興味を惹かれたポイントなどを共有する時間です。参加者の皆さんがそれぞれの視点で鏡川流域の環境や街並み、お店、人などを見て、関心を寄せ、他者に発信する貴重な機会になりました。



散策のあと、気になったお店を紹介する記事を作成。友光さんのアドバイスを受けながら、オリジナルの「見出し」や説明文を作っていきます。



今回の講座をきっかけに、ぜひ、また何度も高知市・鏡川流域を訪れていただきたいです(^^)



「まちのコイン「ぼっちり」に、講座に参加した感想が届いています♪

「隠れ家を見つけられたのでよかったです！」

「取材した側の自分もまちを好きになりますね！」



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android